（共通様式）

平成　　年　　月　　日

〇〇経済産業局長　殿

要望者（補助事業者）

商店街組織

住　　所

名　　称

代 表 者 氏 名　　印

民間事業者　※商店街組織と連携して事業を実施する場合のみ

住　　所

名　　称

代 表 者 氏 名　　印

平成２９年度 地域文化資源活用空間創出事業（商店街支援事業）要望書

地域文化資源活用空間創出事業（商店街支援事業）のうち以下の事業に係る補助金の交付を受けたいので、別紙書類を添えて提出します。

（該当する事業に、〇を記入してください。）

	地域文化資源活用空間整備事業
	地域文化資源活用交流促進事業

「地域文化資源活用空間整備事業」採択かつ「地域文化資源活用交流促進事業」採択の場合のみ、事業を実施することを示します。（いずれかの事業が不採択となった場合は事業を実施しない。）

を１つ記入

	両事業とも採択された場合のみ補助事業を実施する
	両事業とも採択された場合、又は地域文化資源活用空間整備事業のみ採択された場合に補助事業を実施する
	両事業とも採択された場合、又は地域文化資源活用交流促進事業のみ採択された場合に補助事業を実施する
	いずれかの事業が採択された場合、補助事業を実施する

以下の3通りの場合で事業実施することを示します。
1.「地域文化資源活用空間整備事業」採択かつ「地域文化資源活用交流促進事業」採択
2.「地域文化資源活用空間整備事業」採択かつ「地域文化資源活用交流促進事業」不採択
3.「地域文化資源活用空間整備事業」不採択かつ「地域文化資源活用交流促進事業」採択

※記載する際には、記載要領をご参照ください。

（別紙１）

注意

計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用空間整備事業

（１）補助事業者について

商店街の正式名称（〇〇商店街振興組合、△△商店街協同組合等）を記載してください。
※定款・規約等に記載されている正式名称を記載すること。

【商店街組織】

名称	〇〇商店街振興組合		代表者	役　職：理事長 氏　名：〇〇　〇〇	
所在地	〒〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		担当者	役　職：事務局長 氏　名：〇〇　〇〇	
法人番号 ※国税庁が指定した番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		担当者連絡先	電話：〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇 ＦＡＸ：〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇 Ｅ-ｍａｉｌ：〇〇〇@〇〇.〇〇	
組合員数 （加入者数等）	〇〇名	商店街を構成する店舗数	〇〇店舗	商店街内の空き店舗数	〇〇店舗
設立年月日	〇〇年　〇月　〇日	中小指針の適用	有　(無)	中小会計要領の適用	有　(無)
商店街の概況 （特徴、立地、店舗構成、来街者の概況、取組状況、商店街が抱える課題等）	〇〇商店街は、江戸時代から続く城下町として発展してきた地域内にある歴史の長い商店街である。また、〇〇駅から〇m・徒歩〇分に位置し、〇〇市の中心地に立地している。商店街は飲食店〇店舗、物販店〇店舗（日用雑貨品店〇店舗、薬局〇店舗、服飾店〇店舗）、サービス店〇店舗（マッサージ店〇店舗、ネイル店〇店舗）等、計〇〇店舗で構成されており、創業〇〇〇年の和菓子屋等の老舗店も数店存在する。 駅の近くに位置することから、平日には通勤・通学者によりサラリーマンや学生等も多く訪れているが、学校・仕事が休みになる土日祝日には人通りが途絶えてしまう傾向にあり、休日の来街者確保が課題となっている。また、ここ数年、近隣の〇〇〇城には、多くの外国人観光客が訪れているのに対して、〇〇商店街にはそれほど多くの外国人観光客は訪れていない状況にある。 現在、〇〇商店街では、年に数回、イベントを実施しており、夏には「〇〇商店街夏祭り」、冬には「〇〇商店街年末祭」等を開催しており、開催時には多くの人で賑わっている。 今後は、日常的に外国人観光客等を日常的に呼び込み仕組み、受け入れる体制を構築する必要がある。				
意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の活動	女性部はこれまでも〇〇〇や〇〇〇などの活動をしており、独自で〇〇〇を開催するなど商店街活動への積極的な参画がある。今回の〇〇〇も女性部が中心となって開催することで、〇〇〇の効果があると考える。				

国税庁が指定した13桁の法人番号を記載してください。（法人の場合のみ）

中小指針、中小会計要領の適用有無について、該当するものを〇で囲んでください。
なお、適用の有無は、本事業の採否に影響ありません。

中小指針：会計専門家が役員に入っている会計参与設置会社が拠ることが適当とされているように、一定の水準を保った会計処理
中小会計要領：中小指針に比べて簡便な会計処理をすることが適当と考えられる中小企業が利用することを想定した会計処理
（ご参考：http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/youryou/index.htm）

商店街の特徴、立地状況、店舗構成、来街者の概況や商店街活動の取組状況、現在商店街が抱えている課題等について具体的に記載してください。

【民間事業者】※連携体を構成して事業を実施する場合は記載のこと

名称	一般社団法人〇〇観光協会		代表者	役　職：理事長 氏　名：〇〇　〇〇	
所在地	〒〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		担当者	役　職：企画担当 氏　名：〇〇　〇〇	
法人番号 ※国税庁が指定した番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		担当者連絡先	電話：〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇 ＦＡＸ：〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇 Ｅ-ｍａｉｌ：〇〇〇@〇〇.〇〇	
資本の額 又は出資の総額	〇〇〇万円	従業員数	〇〇名	主たる業種	〇〇業
設立年月日	〇〇年　〇月　〇日	中小指針の適用	有　(無)	中小会計要領の適用	有　(無)
活動状況 （当該地域のまちづくりやコミュニティ活動への参画状況）	〇〇市の観光協会であり、〇〇市の観光に関する紹介宣伝及び観光案内、イベント等を実施している。また、〇〇商店街の実施するイベントに企画段階から関わるなど、〇〇商店街と連携した活動も実施している。				

国税庁が指定した13桁の法人番号を記載してください。

（記載上の注意）
（商店街組織、民間事業者がそれぞれ複数になる場合は、適宜記載欄を追加してください

連携体として申請する場合、民間事業者がこれまで当該地域の活動へどのように参画してきたかについて具体的に記載してください。

※記載する際には、記載要領をご参照ください。

（別紙１）

注意

計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用空間整備事業

（２）事業計画

①補助事業の内容

事業名	情報発信ステーションの整備と地域文化資源を活用した〇〇商店街ＰＲ事業
事業実施場所	〇〇商店街振興組合（〇〇にある空き店舗）
活用を予定する地域文化資源	【地域文化資源名①】 〇〇〇 【特徴、地域との関わり等】 〇〇〇は、400年前に建てられた歴史的建造物（国の重要文化財にも登録されている。）で、〇〇市の代表的な観光スポットである。地域住民からも親しまれており、最近では、〇〇〇を訪れる外国人観光客が増えている。 【補助事業における活用方法、連携内容等】 本事業において、〇〇〇と連携して、〇〇をして商店街をＰＲし、商店街に外国人観光客等を呼び込む。 【地域文化資源名②】 〇〇〇 【特徴、地域との関わり等】 〇〇〇は、〇〇市の伝統産業で、市内のいたるところで見られる。また、〇〇商店街内にも〇〇〇に関連する店舗が数多くある。 【補助事業における活用方法、連携内容等】 〇〇〇を活用したオリジナル商品を開発し、商店街をＰＲする。 活用を予定する地域文化資源について、名前、特徴、地域との関わり、補助事業における活用方法、連携内容等について具体的に記載してください。 活用を予定する地域文化資源が複数ある場合は、そのすべてについて記載してください。
事業説明 ※実施予定の事業の詳細を記載してください（整備する施設・設備等の具体的な内容等）	【実施予定の事業】 来街者が少ない休日に〇〇商店街へ誘導するためには、周辺エリアに居住する地域住民はもちろんのこと、〇〇駅利用者をも取り込む必要がある。〇〇市を訪れる外国人観光客等が利用できる情報発信の場を整備する。また、〇〇〇と連携した広報活動、〇〇〇を活用したオリジナル商品の開発を実施する。 また、〇〇商店街において実施したニーズ等調査によると、商店街に求められる機能として〇〇や〇〇、また〇〇といったものが数多く挙げられ、これらに応えることにも対応することが必要と考えられる。 具体的には以下の事業を実施する予定である。 ①情報発信ステーション 商店街内に存在する空き店舗を買取り、〇〇市内の観光情報や商店街の情報などを発信している場を整備する。また、地元住民も利用可能なコミュニティスペースも整備し、観光客と地元住民との交流を図る。各種案内については、多言語表記（日・英・簡体字・繁体字・韓）とする。 ②〇〇〇と連携したＰＲ活用 〇〇市の代表的な観光スポットである〇〇〇と連携して、ＰＲ活動を実施する。〇〇〇において、商店街のパンフレット等を外国人観光客等に配布するなどして、商店街をＰＲしていく。また、商店街の情報発信ステーション等においては、〇〇〇のパンフレットを配布する等のＰＲを行い、商店街と〇〇〇との間に回遊性を創出していく。 ③〇〇〇を活用したオリジナル商品の開発 〇〇市の伝統産業である〇〇〇を活用して、商店街をＰＲできるオリジナル商品を開発する。開発した商品は、情報発信ステーションや〇〇〇などで限定販売し、ゆくゆくは商店街内の個店でも販売をしていく。 【整備する施設・設備等】 現在空き店舗となっている〇〇の改装工事（内装工事）、パンフレット用ラック購入費、オリジナル商品作成発注費等 当該補助事業の事業目的等を踏まえた上で、本事業を実施する必要性について記載してください。 事業規模についても、できるだけ詳細に記載してください。 ※「地域商店街活性化法」の認定計画に基づく事業については、事前の調査結果も含めて記載してください。
地域商店街活性化法による計画認定	有　・　無
事業実施体制 ※商店街組織と民間事業者の連携体の場合は、それぞれの役割分担や実施体制についても記載してください。	〇〇商店街は、買取り予定の空き店舗の地権者との調整や、各関係機関との調整、また本補助事業に係る経理等を担う。理事長は地権者との調整、理事Ａは関係機関等との連絡調整、また補助事業に係る進捗管理、事務局員Ａは経理等の事務を担当する。 〇〇観光協会は、施設整備の計画・運営等を担う。代表が本事業の全体統括として、実施状況の管理、監督を行い、事務局長は〇〇商店街と連携して〇〇を担当する。 また、本事業の実施にあたっては、〇〇市や〇〇商工会議所等が〇〇や〇〇について助言や人的支援について協力を表明しているほか、地元大学の〇〇大学〇〇〇〇教授から商品開発に向けた指導等を受けることとなっている。 連携体としての実体が十分に確認できるよう、それぞれの補助事業者の役割を具体的に記載してください。
補助事業実施予定期間	平成〇〇年　〇月　〇日　～　平成〇〇年　〇月　〇日

※記載する際には、記載要領をご参照ください。

（別紙１）

注意

計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用空間整備事業

②事業実施効果

事業実施による効果	○○○事業の実施により、通行量の増加、回遊性の向上が見込まれる。施設整備だけでなく、情報発信ステーションを拠点とした○○商店街オリジナル商店街の普及により、各個店においても商品のラインナップを見直す等新たな来街者需要を取り込むべく取組をおこなうこととしており、売上高の増加も見込まれる。

外国人観光客の割合は、少なくとも400人程度の歩行者に占める外国人観光客数の割合を測定してください（400人程度の歩行者に占める割合の測定が困難な場合については、1日の歩行者通行量の半数程度を目安として測定してください）

売上高の把握方法については、原則、商店街等を構成する半数以上の店舗の当該1年間の売上高の総計としてください。
また、目標数値は、売上高の実測値（○○円）を記載してください。

その他については、実施する事業の特性に応じて、目標数値を設定してください。例えば施設を整備する場合には、当該施設の利用者数等。

歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、同一月内における2日間の平均値としてください。報告にあたっても、同様の手法（測定時間、測定場所等）を用いてください。

目標数値

※歩行者通行量は、イベント実施時ではない平常時の同月内の2日間の平均値としてください

※外国人観光客の割合は、少なくとも400人程度の歩行者に占める外国人観光客数の割合を測定してください（400人程度の歩行者に占める割合の測定が困難な場合については、1日の歩行者通行量の半数程度を目安として測定してください）

※売上高は、当該年度1年間の総計としてください

※その他の指標は、実施予定の事業に応じた指標を設定してください（事業で整備した施設・設備等の利用者数や売上高等）

※備考欄は数値の測定日等を記載してください

		（A）	（B）	（A×B）		その他の指標
		歩行者通行量（人／日）	外国人観光客の割合（%）	外国人観光客数（人／日）	売上高（万円／年）	整備施設利用者数
事業実施前（申請書作成時直近の数値）	数値	○○人／日（平均）	○○%	○○人／日	○○万円／年	0人／年
	備考	＜調査日時＞ ①平成○○年○月○日 （○○時～○○時） ②平成○○年○月○日 （○○時～○○時）	＜調査日時＞ 平成○○年○月○日 （○○時～○○時）		平成○○年○月 ○○店舗ヘヒアリング調査 （○○年度分売上）	整備前のため計測不可
平成31年度	目標数値	○○人／日（平均）	○○%	○○人／日	○○万円／年	○○人／年
平成32年度	目標数値	○○人／日（平均）	○○%	○○人／日	○○万円／年	○○人／年
平成33年度	目標数値	○○人／日（平均）	○○%	○○人／日	○○万円／年	○○人／年
平成34年度	目標数値	○○人／日（平均）	○○%	○○人／日	○○万円／年	○○人／年
平成35年度	目標数値	○○人／日（平均）	○○%	○○人／日	○○万円／年	○○人／年

目標数値の根拠・検証等	
歩行者通行量	【目標数値の根拠】 本商店街の歩行者通行量は平成○○年から○○年にかけて○○%減少している。しかし、本事業の実施により、外国人観光客等の来街の増加が見込まれる。平日○○%、休日○○%の増加を見込み、年間で○○%の増加を見込む。なお、平成○○年度は施設オープンが○○月予定であり、年間での事業効果としては期間が短いことから、○年度の歩行者通行量は今年度と横ばいの目標とする。翌年度以降は当事業の効果が数字に反映されると見込み、年間○○%の増加を目標値とする。 【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、○○することにより事業効果の増大を図る
外国人観光客数	【目標数値の根拠】 事業実施前に計測した本商店街の外国人観光客数は１日あたり○○人であり、外国人観光客の誘客は課題となっている。一方で、本商店街近隣の観光スポット○○○には多くの外国人観光客が訪れており、本商店街にも多くの外国人観光客を呼び込めると考えている。 本事業実施により、近隣の観光スポット○○などから外国人観光客を呼び込みたいと考えている。近隣の観光スポット○○では、外国人観光客が年間○○%増加しおり、本商店街においては、年間○○%の増加を目標値とする。 【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、○○することにより事業効果の増大を図る
売上高	【目標数値の根拠】 平成○○年度～平成○○年度の商業統計では、年間販売額は平成○○年に○○円、平成○○年に○○円、平成○○年に○○円と減少が続いている。同様に、本商店街の年間売上額も○○%と減少しているが、本事業実施および○○○等の商店街の自主取組により新たな来街者が見込まれ、さらに各個店が店舗の魅力を高める工夫をすることで、来街者○○人のうち○○%程度は購買行動につながると想定されるため、○○%の売上増加が期待できる。 【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、○○することにより事業効果の増大を図る。
その他の指数	

※記載する際には、記載要領をご参照ください。

（別紙１）

注意

計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用空間整備事業

③効果の継続性

補助事業の効果を継続させる工夫	本事業で整備した施設については、今後〇〇や〇〇等としても活用していく計画である。また、来年度以降も自主事業により、〇〇〇と連携したＰＲ活動や新たな商店街オリジナル商品を開発を、主に外国人観光客等向けに実施し、〇〇商店街の魅力向上を図っていく。また、それに合わせたイベント等の開催を随時実施していくこととしている。 〇〇商工会議所や地元大学の〇〇大学、その他地場企業等とも連携体制を構築し、〇〇商店街活性化について引き続き活動していく予定である。

・補助事業の効果に継続性を持たせるための取組を具体的に記載してください。

④収支計画

・収入見積りの根拠 ・収支計画 （補助事業期間内及び補助事業終了後５年間の収支計画）	【収入見積りの根拠】 本事業による〇〇商店街オリジナル商品「〇〇〇〇〇」の販売により〇〇万円の収入を見込むほか、来年度以降は自主事業において更なるオリジナル商品の開発を計画している。 「〇〇〇〇〇」による収入見込み（オリジナル商品３タイプを開発・販売予定） Ａ（〇〇〇円）×〇〇〇個＝〇〇〇円 Ｂ（〇〇〇円）×〇〇〇個＝〇〇〇円 Ｃ（〇〇〇円）×〇〇〇個＝〇〇〇円 【収支計画】※補助事業期間内及び補助事業終了後５年間の収支計画について具体的に記入すること ※収支計画は以下のとおり。詳細は別添〇参照。

	収入	支出	備考
平成30年度	〇，〇〇〇，〇〇〇	〇，〇〇〇，〇〇〇	事業実施年度
平成31年度	〇，〇〇〇，〇〇〇	〇，〇〇〇，〇〇〇	
平成32年度	〇，〇〇〇，〇〇〇	〇，〇〇〇，〇〇〇	
平成33年度	〇，〇〇〇，〇〇〇	〇，〇〇〇，〇〇〇	
平成34年度	〇，〇〇〇，〇〇〇	〇，〇〇〇，〇〇〇	

・補助事業者の経営状況をふまえて、可能な限り具体的な数値をもとに整合性のある収入見積もりを記載してください。
・収入見積もりに即して、当該事業を実施するにあたっての収支計画を記載してください。
・補助事業終了後も、事業の継続実施を目指し、計画(スケジュール等)を記載してください。